

# 令和7年度 指定管理者制度導入施設の管理運営状況について

自然環境課

## 1 施設の概要等

施設名	帝釈公園施設		
所在地	庄原市東城町三坂		
設置目的	すぐれた風景地である自然公園の利用の増進を図り、もって県民の保健、休養及び教化に資する。		
施設・設備	ケビン（5人用、10人用）、オートキャンプ場、多目的ホール（体育館等）等		
指定管理者	5期目	R6.4.1～R11.3.31	（一財）休暇村協会
	4期目	H31.4.1～R6.3.31	（一財）休暇村協会
	3期目	H26.4.1～H31.3.31	（一財）休暇村協会
	2期目	H21.4.1～H26.3.31	（一財）休暇村協会
	1期目	H18.4.1～H21.3.31	（財）休暇村協会

## 2 施設利用状況

利用状況	年度	目標値 [事業計画]	入場者数	対前年度増減	対目標値増減 (達成率)
	5期	R7	26,000人	37,463人	△631人
R6		26,000人	38,094人	10,352人	12,094人 (146.5%)
4期平均	R1～R5	23,600人	27,742人	4,380人	4,142人 (117.6%)
3期平均	H26～H30	24,500人	23,362人	△371人	△1,138人 (95.4%)
2期平均	H21～H25	22,600人	23,733人	2,436人	1,133人 (105.0%)
1期平均	H18～H20	—	21,297人	2,341人	—
	H17 (導入前)	—	18,956人	—	—
増減理由	大学生の団体利用が減少したことでケビンや多目的ホールの利用が減となったが、日帰り利用者（特にツアー団体）が増加したことで、目標は達成した。				

## 3 利用者ニーズの把握と対応

調査実施内容	【実施方法】	【対象・人数】
	アンケートの実施	施設利用者 244件
	【主な意見】	【その対応状況】
	フリーWi-Fiが欲しい	改善要望事項として情報を共有した。

## 4 県の業務点検等の状況

項目	実績	備考
報告書	年度	○ 事業報告書
	月報	○ 月次業務報告書
	日報（必要随時）	—
管理運営会議（随時）	<b>【特記事項等】</b> 施設の不具合などの現状把握と適切な対応 <b>【指定管理者の意見】</b> 施設の老朽化に対し、必要に応じて改修・修繕箇所を県と協議する。	
現地調査（12月）	<b>【県の対応】</b> 老朽化施設の改修や施設の安全対策については、指定管理者と調整し、トイレ洋式化工事に向けた調査や危険木の伐採を実施した。	

5 県委託料の状況

(単位：千円)

県委託料 (決算額)	年度		金額	対前年度増減	料金 収入 (決算額)	年度		金額	対前年度増減
	5期	R7	4,565	136		5期	R7	51,720	△3,616
		R6	4,429	△562			R6	55,336	△1,149
	4期平均 R1～R5		4,991	3,139		4期平均 R1～R5		56,485	3,029
	3期平均 H26～H30		1,852	52		3期平均 H26～H30		53,456	11,607
	2期平均 H21～H25		1,800	△531		2期平均 H21～H25		41,849	2,087
	1期平均 H18～H20		2,331	△660		1期平均 H18～H20		39,762	2,128
	H17 (導入前)		2,991	—		H17 (導入前)		37,634	—

6 管理経費の状況

(単位：千円)

項目		R7 決算額	R6 決算額	前年度差	主な増減理由等
収入	県委託料	4,565	4,429	136	光熱水費高騰に伴う委託料の増
	料金収入(※1)	51,720	55,336	△3,616	大学生の団体利用減少による減
	その他収入	461	452	9	
	計(A)	56,746	60,217	△3,471	
支出	人件費	27,352	31,641	△4,289	雇用形態の変更による減
	光熱水費	6,825	7,964	△1,139	宿泊者の減
	設備等保守点検費	1,227	1,338	△111	宿泊者の減
	清掃・警備費等	4,370	6,044	△1,674	宿泊者減に伴う洗濯費・消耗品費の減
	施設維持修繕費	161	599	△438	修繕箇所の減
	事務局費	4,334	5,211	△877	直接予約の増加による予約サイト手数料の減
	その他	5,210	4,790	420	公課費の増
	計(B)	49,479	57,587	△8,108	
収支①(A-B)		7,267	2,630	4,637	
自主事業 (※2)	収入(C)	2,282	2,754	△472	宿泊者減少に伴う売店販売、貸出備品の減
	支出(D)	2,197	2,857	△660	
	収支②(C-D)	85	△103	188	
合計収支(①+②)		7,352	2,527	4,825	

※1 利用料金制：公の施設の使用料について、指定管理者が直接使用料等を収入することができる制度。  
指定管理者の自主的な経営努力を発揮しやすくする効果が期待され、地方公共団体及び指定管理者の会計事務の効率化が図られる。

※2 自主事業：指定管理者が自らの責任で、更なる施設サービスの向上のために提案・実施する事業。

## 7 管理運営状況

項目		指定管理者 (事業計画、主な取組、新たな取組など)	県の評価
施設の効用発揮	○施設の設置目的に沿った業務実績	豊かな自然環境を活かし、キャンプや自然観察会、朝の散歩会、ウォークラリー等を実施し、施設の利用促進を図った。	施設の利用と合わせ、各種イベントを開催することで施設の利用促進に努めている。
	○業務の実施による、県民サービスの向上	朝の散歩会や星空観察会などのほか、紅葉観賞会や桜のライトアップなどの季節毎の施設の特徴を活用したプログラムを行った。	施設の特徴を生かしたプログラムにより、施設利用者へのサービス向上に取り組んでいる。
	○業務の実施による、施設の利用促進	施設の利用促進のため、ブログやマスコミ向けのニュースリリースセールスを実施したほか、全国規模のペット関連イベントでチラシの配架を行った。	新たな顧客を獲得するため、戦略的な利用促進に取り組んでいる。
	○施設の維持管理	施設の維持管理のため、ケビンでは定期的に集中清掃を行い、利用者の満足度を高めた。	施設の清潔さを維持する対策を実施することにより、利用者の満足度を高めている。
管理の人的物的基礎	○組織体制の見直し	繁忙期は、ホテル客室清掃係がコテージ清掃に応援に行くなど人員体制を見直した。	状況に応じて、組織体制の見直しを行っている。
	○効率的な業務運営	軽微な修繕箇所は直営で実施した。	必要な修繕を直営で行うなど、経費の縮減に努めている。
	○収支の適正	利用実態に応じた人員体制の見直しや効率的な修繕等、適切な収支管理に努めた。	利用実態に応じた体制の見直しなど、経費削減に取り組み、収支の適正化に努めている。
総括		大学生の団体利用の減やキャンプ場、ケビンの利用が令和6年度と比べて減少したものの、経費削減に努め、黒字を確保できた。	施設の利用促進のために、利用者ニーズに応じた新たな取組や必要な修繕を直営で行うなどの経費削減への取組により、黒字を確保できている。

## 8 今後の方向性（課題と対応）

項目	指定管理者	県
短期的な対応 (令和8年度)	常設テントの更新や新規備品の購入等により、利用者の満足度を高めるとともに、安全に利用していただけるよう日々の点検を行い、要修繕箇所は適時、確実に行う。また利用促進につながる取組を企画・実施する。	利用者の満足度を高めるため、トイレの洋式化を行い、施設の魅力向上を図る。また、利用促進につながる取組に対し、必要な支援を行う。
中期的な対応	老朽化が進む各施設の状況を把握し適切な維持管理を行うことで利便性を高め、サービスの向上を目指し、リピーターを増やすことで安定的な経営に努める。	指定管理者と協議しながら、優先度の高い施設から計画的に修繕等行うとともに、利用者増に向けた取組や効果的な施設運営に必要な支援を行う。